

南アルプスパートナーシップ

取組事例集

令和7年度



南アルプス
パートナーシップ
MINAMI-ALPS PARTNERSHIP



南アルプス
ユネスコエコパーク

概要

南アルプスパートナーシップは、南アルプスユネスコエコパークの理念に基づき、静岡市と企業、大学、団体等多様な主体が連携・共創する枠組みです。

自然環境の保全と地域の持続的な発展を両立させるため、資金・人材・物品・知見等の提供を通じて協力し、南アルプスの価値を守り、活かし、次世代へつなぐ取り組みを推進しています。

目的

南アルプスの貴重な自然環境や生態系、そこに育まれてきた文化や暮らしを将来世代へ継承することを目的としています。

行政のみならず、多様な主体が主体的に関わることで、保全活動の充実と持続可能な利活用を図り、南アルプスを核とした地域価値の向上と、社会全体で支える仕組みづくりを目指します。

「南アルプス パートナーシップ」の呼びかけ



静岡市が行う南アルプスユネスコエコパークにおける活動

生態系の保全と持続可能な利活用の調和

- ・南アルプスユネスコエコパークミュージアムの運営・活用
- ・山小屋や登山道の整備
- ・自然環境の保全
(防鹿柵設置・動植物環境調査・高山植物保護セミナー・森づくりツアー・生きもの調査ツアー等)
- ・地域と企業・個人をつなぐ地域づくり
(地域行事への参加、地域協議会事業への参加等)



企業や団体との連携・共創



地域、民間事業者、学校、行政など、あらゆる主体に呼びかけ、ユネスコエコパークの理念やSDGsの大切さに共感いただき、静岡市が行うエコパークにおける活動と連携する

- ①環境共生課への連絡
- ②「南アルプス パートナーシップ宣言」
- ③エコパークにおける活動との連携・共創

協力いただきたい内容

知見の提供による協力

- 南アルプスの自然環境保全や利活用等についての専門的知見からの助言

人の派遣による協力

- 南アルプスの自然環境の保全や井川地域の振興へ向けた事業への参画

資金提供による協力

- 個人版ふるさと納税、企業版ふるさと納税等により、ミュージアムや山小屋の整備・運営を資金面からの支援

現物提供による協力

- ミュージアムに展示する品や山小屋整備に必要な資材等を提供



目指す姿と基本方針

静岡市は、令和7(2025)年度から令和16(2034)年度末までを計画期間とし、「第2次南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画(静岡市域版)」を策定しました。南アルプスパートナーシップにおいても、この計画に掲げる5つの基本方針に沿った取り組みを実践し、南アルプスユネスコエコパークの持続的な発展を目指していきます。

●目指す姿

本計画の目指す姿

自然環境と生物多様性を保全しながら、ここにしかない地域資源(自然、食、体験、人材)を磨き上げ、それらの持続的な利活用と交流の拡大により、心豊かに暮らせる地域を目指します。

●基本方針

①まもる【自然環境のさらなる保全】

- 希少な動植物保全事業の継続
- 気候変動や開発行為への適切な対応

持続可能な開発目標 (SDGs)



②しらべる【調査の継続と体制の確立】

- 自然環境のモニタリング
- 環境影響を常に注視する体制構築
- 情報を集約し、活用する体制構築

持続可能な開発目標 (SDGs)



③うみだす【魅力の引き出し・磨き上げ】

- 地域資源の最大活用
- 地域住民・来訪者の安全性・利便性の確保
- 再訪したくなる魅力づくり

持続可能な開発目標 (SDGs)



④つたえる【情報発信・環境教育・人材育成の強化】

- 魅力の効果的な広報
- 持続可能な観光の推進
- 自ら行動する人の育成

持続可能な開発目標 (SDGs)



⑤つなげる【連携・共働の強化】

- 連携体制の強化
- 連携による上記①～④の基本方針の強化

持続可能な開発目標 (SDGs)



ロゴ:国連広報センター作成

南アルプスパートナーシップ賛同団体一覧

(2026年3月現在)

- ▶ 一般財団法人南アルプスみらい財団
- ▶ 特種東海製紙株式会社
- ▶ 株式会社特種東海フォレスト
- ▶ 十山株式会社
- ▶ 東京電力リニューアブルパワー株式会社
- ▶ 中部電力株式会社
- ▶ 大成建設株式会社
- ▶ 東海旅客鉄道株式会社
- ▶ 静岡聖光学院中学校・高等学校
- ▶ 特定非営利活動法人 国際自然大学校
- ▶ 静岡商工会議所
- ▶ 静岡経済同友会 静岡協議会
- ▶ 株式会社テレビ静岡
- ▶ 株式会社LEAPH
- ▶ 静岡市山岳連盟
- ▶ 株式会社リバティ
- ▶ 株式会社SBSプロモーション
- ▶ 静岡県立静岡農業高等学校
- ▶ 静岡県立静岡東高等学校
- ▶ 静岡県立大学
- ▶ 東京海上日動火災保険株式会社
- ▶ 株式会社FIEJA
- ▶ 石橋防災システム株式会社
- ▶ 株式会社静環検査センター
- ▶ 株式会社環境アセスメントセンター

まもる

しらべる

うみだす

つたえる

つなげる

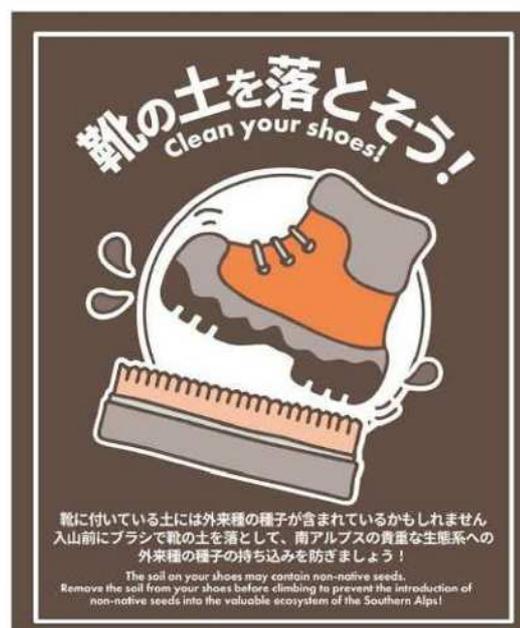
■ 事業

種子落としマットの設置

■ 取組内容

畑薙大吊橋、中ノ宿吊橋、聖沢登山口、大倉尾根登山道、千枚大吊橋付近において、外来種の侵入防止を目的に種子落としマット及び啓発看板を設置。

登山者の行動変容を促し、希少な自然環境の保全と適切な利用の両立を図った。



この取組は、登山活動における利用と安全の両立を目的として、
特種東海製紙株式会社・十山株式会社・大成建設株式会社の3社協働による活動の一環として行っています。



《実施時期》 2025年5月～7月

取組団体 ▶▶▶

- ・ 特種東海製紙(株)
- ・ 十山(株)
- ・ 大成建設(株)

まもる

しらべる

うみだす

つたえる

つなげる

■ 事業

南アルプス保全・利活用へ 市に105万円を寄贈

■ 取組内容

十山(株)は、井川蒸溜所のウイスキー事業売上の一部として105万円を、南アルプスユネスコエコパーク保全活用基金へ寄附。寄附金は、保全活動や新設の南アルプスユネスコエコパークミュージアムの整備・運営への活用が期待され、自然環境の保全と持続可能な利活用の推進に寄与した。



《実施時期》 2025年6月2日(月)

取組団体 ▶▶

・ 十山(株)

まもる

しらべる

うみだす

つたえる

つなげる

■ 事業

ユナイトキラキラ探検隊 リアル宝探しin静岡県

■ 取組内容

トヨタユナイテッド静岡株式会社が主催する県内9エリアをめぐる体験型イベント「ユナイトキラキラ探検隊 リアル宝探しin静岡県」において、南アルプスユネスコエコパークミュージアムをスポットとして組み込み、来館のきっかけを創出。

今年新設されたミュージアムの活用をし、集客促進と施設認知の向上に寄与した。



《実施時期》 2025年7月19日(土)～9月28日(日)

取組団体 ▶▶

・(株)SBSプロモーション

まもる

しらべる

うみだす

つたえる

つなげる

■ 事業

南アルプス・井川を舞台とした動画制作

■ 取組内容

スポーツの魅力を動画で発信するTHINK&RUNプロジェクトの一環として、トレッキングを題材に南アルプス・井川を舞台とした動画を制作。

南アルプスをみんなに知ってもらい大使で山岳ランナーの望月将悟氏が初心者向けに井川の山をガイドし、山の魅力や歩き方、美しい景観を伝えることで南アルプスの魅力発信に寄与した。



スポーツで、元気な静岡をともにつくる。

THINK & RUN
ALL SPORTS, ALL SHIZUOKA.

《実施時期》 2025年10月～11月

取組団体 ▶▶

・(株)SBSプロモーション

まもる

しらべる

うみだす

つたえる

つなげる

■ 事業

しずおか山守隊・茶臼岳登山道整備ツアー

■ 取組内容

茶臼岳登山道の修繕を、しずおか山守隊が一般参加者を募集したツアー形式で実施。井川森林組合や茶臼小屋管理人と連携するほか、井川在来作物の食やミュージアム見学を通して、地域を知る機会を提供。

本取組について、SNSやメディアで発信することで、理解促進と環境保全、継続的な協力体制づくりにつなげた。



《実施時期》 2025年11月15日(土)～16日(日)

取組団体 ▶▶▶

- ・ (株)テレビ静岡
- ・ (株)FIEJA
- ・ 十山(株)
- ・ (一財)南アルプスみらい財団



南アルプス
パートナーシップ
MINAMI-ALPS PARTNERSHIP



南プスHPにて、
各団体の取組を
紹介しています。

